


横芝町の人口と世帯

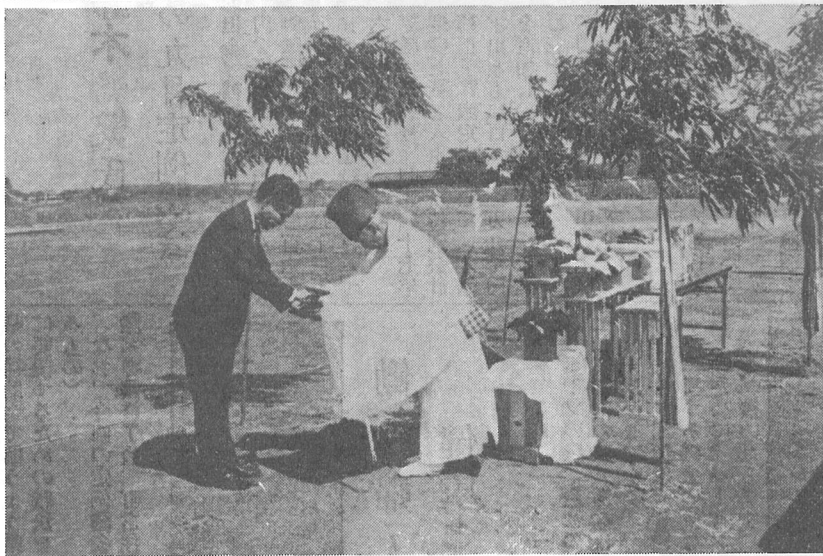
＜ 8 月 31 日 現在 ＞	
人 口	12,633 (+ 6)
男	6,069 (+ 2)
女	6,564 (+ 4)
世帯数	3,075 (+ 5)
() 内は前月比	



横芝

広報

発行所
山武郡横芝町横芝636番地
横芝町役場
電話 04798-2-1111(代)
郵便番号 289-17



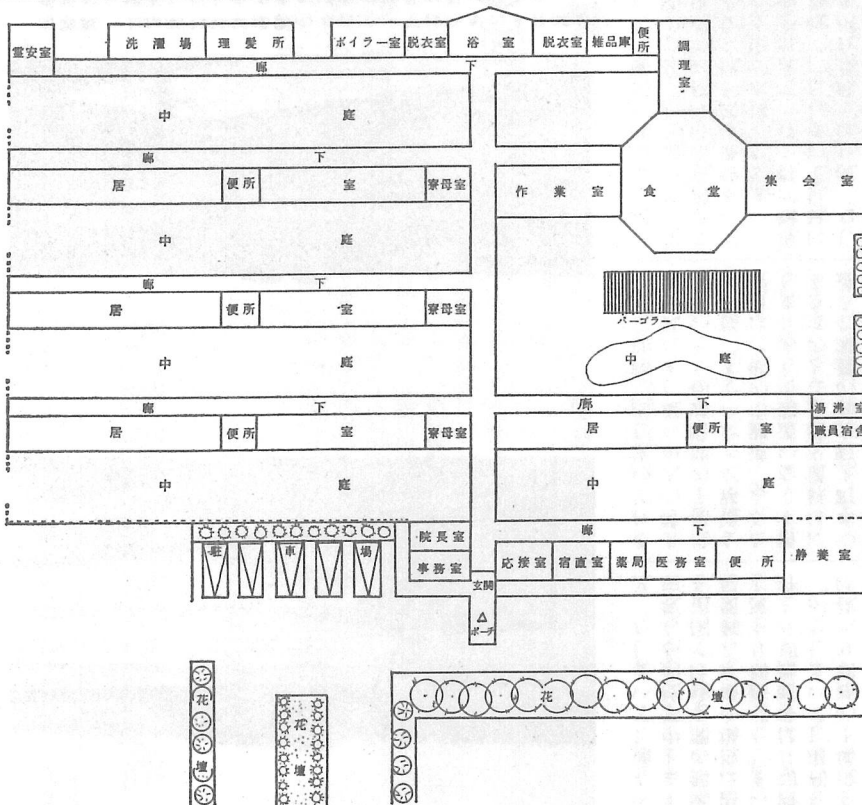
老人達の幸を願ひ、献入れをする石橋行政組合管理者

緑と水に囲まれた坂田湖畔に、去る九月十九日に、山武郡市広域行政組合立 日起工式が行なわれました。の養護老人ホームが新築され、町には、昭和三十二年に建設

近代的な 養護老人ホーム 着工する

された町営の老人ホームがあらりますが、すでに十五年の歳月がたち、老朽化かほげしく老人達が安心して老後を過ごす場所としては、見るにしのびないような施設となっており、また町外の老人も数多く収容していることもあって、町の単独運営では難しいため同組合で新築する事になったものです。

食生活の向上と医療保険制度の充実により、平均寿命はますます延長し、一方で核家族化の進展とあわせ、経済的、身体的、あるいは家庭環境上の理由から老人福祉施設の拡充が叫ばれている折、老人達が安心して老後を過ごせるような近代的な施設が、町に誕生することは意義深いものであると思います。



養護老人ホーム配置図

構造	鉄筋コンクリート
坪数	千八百二十二平方
床面積	メートル
総工費	九千九百五十万円
敷地面積	九千三百九十六平方
方メートル	
竣工予定	昭和四十八年三月
収容人員	百名

議長更迭さる

新議長に鈴木 繁氏

町の九月定例議会

町定例議会が、去る九月二十一日午前十時に招集されました。会期は同日から二十八日までの七日間とされ、会議は二十二日、二十五日、二十七日、二十八日の四日にわたって開かれました。

今回の議会には、消防団員等公務災害補償条例の一部改正、教育委員の選任、補正予算など五件の町長提出議案があったほか、議員提案による意見書案が提出され、各案件ともに可決されました。

議案等の概要は次のとおりです。

▼議案第一号 消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例(非常勤消防団員が公務中に災害を受けたときの補償額を算定するときの基準を引き上げるほか、特に危険な公務に従事したときの災害については、更に加算した額を支給できるよう改めるもの)

▼議案第二号 昭和四十七年度横芝町一般会計補正予算議定について(才入才出ともに二千五百七十万円を追加し、予算総額を九億三千五百二十七万九千円とするもの、才出の主なものは、行政組合、水道企業団、青年館などの負担金、補助金六百十万五千円、衛生組合負担金百八十二万三千円、漁港管理費百六十万円道路改良費二百八十三万五千円、学校建設費三百六十六万円など)

▼議案第三号 昭和四十七年度横芝町老人ホーム特別会計補正予算議定について(才入才出ともに百八十三万九千円を追加し、予算総額を一千九百三十八万二千円とするもの、国の措置費の基準引き上げに伴って総務費、事業費に追加計上するもの)

▼議案第四号 昭和四十七年度横芝町国民保養センター特別会計補正予算議定について(才入才出ともに百二十四万六千円を追加し、予算総額を七百七十八万一千円とするもの、使用料、雑入の収入を財源として一般管理費に追加計上するもの)

▼議案第五号 横芝町教育委員会委員の選任同意について(教育委員会委員三名の任期満了に伴い、石橋端夫、椎名弥一郎、渡辺祥嗣の三氏を再任するため議会の同意を求めらるもの)

▼議案第六号 乳幼児医療無料化に関する意見書について(乳幼児医療無料化を実施した場合の財源について、国、

県の補助金で賄うよう県当局に要望するための議決を求めらるもの)

なお、今回の定例議会では後任の新議長には、鈴木繁氏が選ばれました。



働く婦人の健康と美容のため

バトミントン教室開設

スポーツの秋、食欲の秋、そして芸術の秋、あなたはどの秋を選びますか?

中央公民館では、普段スポーツに接する機会が少ないご婦人のために、バトミントン教室を開催いたします。

・ 期日 十月二十二日(日)
 ・ 時間 午後一時～四時まで
 ・ 場所 大総地区 大総小体育館

バトミントンは、誰にでも手軽に楽しむことのできるスポーツです。美容と健康のためにもあなたもぜひ参加して下さい。



好評のバドミントン教室

- ・ 内容 上塚小体育館
- ・ 服装及び持参するもの 運動のできる服装で、ラケットのある方は持参して下さい。
- ・ 横芝地区 横芝中体育館
- ・ 上塚地区 上塚小体育館
- ・ 本技術。バトミントン
- ・ 服装及び持参するもの

親子そろって釣大会参加を

親子の断絶ということが今いわれておりますが、あなたは親子の対話の場をどこに求めていますか。子供と話し合ってみたいが話題がないと思っ

てゐる方、案外子供供達は、いろいろなことを親達と話し合ってみたいと思っ

てゐる方も知れません。そんなとき、ノンビリと釣糸をたらしながら話し合っ

て見て下さい。普段家庭内では、みられなかった一面が発見できるかも知れません。そしていつでも何でも話し合うことのできる親子になりたいものです。当日は十月の「家庭の日」です。家族そろってこの釣大会に参加して、秋の日の一日をゆっくりとお楽しみ下さい。

・ 期日 十月十五日(日)

- ・ 集合場所 横芝町屋形漁港
- ・ 集合時間 午前八時三十分
- ・ 釣時間 午前九時～二時まで
- ・ 会費 一チーム五百円 (エサ代及び雑費)
- ・ チーム編成 親子で一チーム(但し人数は何人でも結構ですが、釣竿は二本以内とします)
- ・ 表彰 総重量賞、大物賞、その他多数
- ・ 参加申込み 十月八日までに、中央公民館事務室までお願いいたします。(会費は開催当日にいただきます)

おすしの作り方

コーナーへ

日本人に最も好まれてる食事、おすしの作り方の講習会を、次のとおり開催いたしますので、お気軽に参加されますようお知らせいたします。

・ 日時 十月十九日午後一時三十分から約二時間

・ 会場 横芝町中央公民館

・ 講師 ミツカン酢料理教室 日本館調理普及会 講師 富永博夫先生

・ 内容 すし飯の炊き方、合わせ酢各種、玉子の焼き方、油揚げの煮方、すし種の作り方、その他各種すしのり方

・ 持参するもの 筆記用具と試食用小皿

横芝の碑

(その二)

小さいお母ちゃん

〈孝子とく之碑〉

上塚小学校から五十メートル程下り、砂利路を右に折れて往きますと間もなく左手が墓地になっていきます。その中に高さ二メートル余りの碑が道路に向って建っています。これが孝子とくの顕彰碑です。とくは明治三十七年七月に屋形の佐瀬丑次郎さんの長女として生まれました。生来の利発者で心の優しい少女でした。が、とくが小学校へ入った頃から父親丑次郎さんは病氣勝になり、母親のサタさんは父親の分まで野良仕事に励ま



していましたが、母親代りになつていくとくを慕つて後を追うので止むなくこれを背負って登校することも度々でした。それでも成績は常に一番で「小さいお母ちゃん」と愛称されて級の人望を一手に集めていました。こうした健気な働きは、上塚村ばかりでなく近隣町村の評判にもなりました。大正五年一月、とくが小学校六年の時、当時としては極めて荣誉とされていた県知事表彰として金一封が授与されました。そうした立派な少女でしたが長い苦勞のためか十六才という若さで逝くようになりましたが、この徳行はその後も少年少女に対して訓め言葉に引用されていきました。

昭和四年、上塚村処女会(後の女子青年団)等が中心になりその碑を建立して事蹟を刻んでこれを顕彰し後世に伝えることになったのです。写真はその碑で、表には、孝子、佐瀬とく之碑、と刻まれ、裏には、

明星輝く粟山河畔暮末二頤学海保漁村翁アリ、大正二孝子佐瀬とく出ツ、父ハ丑次郎母ハサタ、明治三十七年七月一日ヲ以テ上塚村屋形ニ生ル資性温良伶俐幼ヨリ至孝也、其ノ費ニ於ケル學術優等品行方正毎年度ノ首席ヲ占ム、然シテ家貧シク加フルニ父丑次郎多年病床ニアリシ為一家頗ル生計ニ苦シムとく女若小ニ身ヲ以テ夙ニ起テ夜ハ三更ニ至ル迄餐ニ在ルノ外母ヲ助ケ共ニ耕シ共ニ蠲ヒ具に辛苦ヲ嘗メ一向薬飼ト糊口ニ糧シ専

ラ父ノ回復ト弟妹ノ養育ニ力行心志ヲ碎キ病其ノ身ニ至ルヲ知ラス篤行遂ニ千葉県ノ知所トナリ大正五年一月官ハ金一封ヲ賜フテ其ノ至孝ヲ表彰ス。是レとく女十三才尋常六年ノ時也、然ルニ惜シイ哉天命咨カニシテ僅カ十六才父ノ後ヲ追フテ夭折ス然ルト雖モ其ノ行蹟ヤ人ノ龜鑑トシテ永遠ニ不朽也。くれなひの

いろいろかもしるぎ
のうめ哉 鉄弓

前上塚村処女会長 伊藤兵一郎 撰文
上塚村尋常小学校長 五木田孝二郎 謹書
昭和四年一月 上塚村処女会 建之
と刻んであります。(撰文は大分難かしい文字や熟語が入っていますので活字等の関係から少し正確さを欠くかも知れません。予め御了解をおねがいいたします。)

町選挙管理委員会から、四十七年九月一日現在の、選挙人名簿に登録されている有権者数の発表がありました。それによると有権者総数八千八百五十三人と昨年同期より百三十三人の増となっており、女性の有権者が全有権者の五十三パーセントをしめております。尚、投票区別有権者数は別表のとおりです。

町有権者数

八、八五三人

|| 選挙発表 ||

不幸な人々に

愛の手を



みなさんに赤い羽根で親しまれてきた共同募金も、今年で二十六年目を迎えました。この共同募金運動は、みなさんの善意で身よりのないこともやお年寄り、病氣や体が不自由で働けない人など恵まれない人々を救おうとする「たすけあい」の精神に根ざした国民運動で、現在のわが国

の民間社会福祉事業を推進するための財源として、きわめて大きな役割を果しています。また、共同募金運動は、県を単位としてのたすけあい運動です。したがって、みなさんから寄せられた浄財は、千葉県内の民間社会福祉事業に使用されます。今年も十月一日から全国いっせいはじまり、十二月一日からはじまる歳末たすけあい運動とあわせて十二月三十一日まで行なわれます。千葉県では、今年のも目標額を一億八千九十九万円と目標していますが、そのうち当町の目標額は四十万七千円です。今年も本運動が立派なみのりを結びますよう皆様方のご協力をお願いいたします。

選挙人名簿登録者数

投票区	男女別		計
	男	女	
第一投票区	888	971	1,859
第二投票区	1,092	1,222	2,314
第三投票区	1,229	1,437	2,666
第四投票区	417	464	881
第五投票区	539	594	1,133
合計	4,165	4,688	8,853

建設のあゆみ

9 月 ~ 10 月

着工及び工事中の事業

①道路舗装工事

東町駅脇	200m
牛熊地先	700m
屋形人間地先	600m
北清水～鳥喰上	1,085m
鳥喰新田地先	2,667m
栗山～北清水 (敬愛高校前)	1,515m

②敷地造成工事

栗山分譲地	22,781㎡
-------	---------



伊藤つねさん(98才)いつまでもお元気に

九月十五日は敬老の日、この日を記念して多年にわたって社会につくされて来た、当町九十才以上の高令者二十名の祝品として、知事からの祝品として、拡大鏡セツト、町社会福祉協議会から座布団が贈られ、町長と笹本社福会長が各家庭を訪問して伝達いたしました。

当町九十才以上の高令者は次のとおりです。どうぞ幾久しくご健康でありますようお祈り申し上げます。

町九十才以上の高令者二十名

町長、社福会長が訪問

伊藤 つね	98才	立会
海藤 三年	97才	ホーム
伊藤 てつ	96才	中台
伊藤 志げ	95才	姥山
山路 あき	94才	ホーム
武田 けい	93才	牛熊
杉本 その	93才	上町
堀井 政二	92才	東町
椿 やす	92才	姥山
吉岡 つや	91才	中台
鈴木 コウ	91才	幾台
神保 よ志	91才	於幾
椎名 やす	91才	東町
戸田 なを	91才	鳥喰上
川嶋 やす	91才	新島荒場
長峯 隆一郎	90才	長倉
植村 いる	90才	上町
実川 藤四郎	90才	古川
椎名 みき	90才	東町

千葉公共職業安定所では、毎日忙しく働いておられる企業の皆さんの便宜を図るため、電話による求人情報提供を次のとおり行っていますので、人手不足で困っている企業の方は、是非この制度のご利用をおすすめします。

問合せ先 (五三三) (五三三) (概況情報) (五三一四) (五三三) (詳細案内)

電話で

求人情報を

テレフォンサービス
求人情報提供計画

期 間	性別	内 容	内 容	
			詳	細
10月2日～10月8日	女	事務職	一般事務	組立工
10月9日～10月15日	男	機械金属職	工作機械	組立工
10月16日～10月22日	女	技能職、サービス職	美容、ウェイトレス、調理	ウエイター
10月23日～10月29日	男	建設機械職	配管工	玉掛工
10月30日～11月5日	女	単純作業職	建設機械	運転工、組立工

保護司の仕事

ご存知ですか!!

みなさん保護司の任務をご存知でしょうか。保護司は、法務大臣に委嘱され、社会奉仕の精神をもって犯罪をした者の更生を助けるとともに、犯罪の予防のため世論の啓発につとめ、地域社会の浄化をはかり個人及び公共の福祉に寄与することを使命としています。この任務達成のために、社会の犯罪防止運動、いわゆる社会を明るくする運動も年中行事として毎年行っております。又対象者の再犯防止、補導、援助等健全な社会人として生活できるように良き相談相手として活躍しています。当町には現在八名の保護司が各地区を中心に活動していますが、対象者により全域活動もあわせて行うこともあります。各家庭で、少年の非行、交通事故、その他の過ちでお悩みの方は、是非最寄の保護司にご相談下さい。



方は、是非最寄の保護司にご相談下さい。

大総地区 伊藤 貫一
横芝地区 林 唯一
吉岡 山 山
上埴地区 川島 峰一郎
横芝地区 伊藤 唯一

横芝俳壇

横芝区会九月例会

直線に刈りかけてある田圃かな

土屋 栗水

稲刈りや束ね残りに暗る空

石川 奇水

師の在す極楽に咲け秋桜

齊藤ちくろ

稲車爆音を越す声となる

藤代 ゆう

稲刈れば軽きし音のたえまなく

奥山 萌古

釣れ初めし鯉の稚いさし釣をとる

木下石果子

稲刈機孤独を感じつつ刈りぬ

三枝 句城

工場の騒音左右に稲を刈る

古谷 紅雲

こだまする音さえ稲穂の重さ持つ

宇都木吐句志

満載の稲舟ぐるぐる十二橋

伊藤 保人

稲刈の腰をそらせば雲ながる

佐久間実枝子

新涼や思慕新たり鉄弓忌

砂 丘子

次回 十月十四日 一時

兼題 秋しぐれ、柿

兼題 秋しぐれ、柿

兼題 秋しぐれ、柿

兼題 秋しぐれ、柿

兼題 秋しぐれ、柿

兼題 秋しぐれ、柿

兼題 秋しぐれ、柿

兼題 秋しぐれ、柿

兼題 秋しぐれ、柿

兼題 秋しぐれ、柿

兼題 秋しぐれ、柿

兼題 秋しぐれ、柿

兼題 秋しぐれ、柿

兼題 秋しぐれ、柿